

愛知県豊田市で豚コレラ陽性！

【飼養状況】 繁殖豚:1,140頭、子豚:5,500頭 合計:6,640頭

【発生の経緯】

2月4日 愛知県豊田市の養豚場で、飼養豚が食欲不振・元気消失の症状を呈していると通報あり、愛知県が立入検査実施

2月5日 精密検査の結果、豚コレラ疑いあり

2月6日 農研機構動物衛生研究部門における精密検査の結果、豚コレラ遺伝子検査陽性、患畜確定
殺処分開始

疫学関連農場(恵那市)でも豚コレラ陽性！

【飼養状況】 繁殖豚:135頭、子豚:3,858頭 合計:3,993頭

【発生の経緯】

2月3日 愛知県豊田市の養豚場から仔豚を80頭導入

2月5日 愛知県豊田市の養豚場で豚コレラ疑い
東濃家畜保健衛生所が恵那市養豚場へ立入

2月6日 豚コレラ遺伝子検査陽性
国との協議を経て、疑似患畜と決定
殺処分開始

※今回の恵那市豚コレラ発生に係る移動制限、搬出制限、消毒ポイントの設置、出荷等の制限はありません。

異常があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

中濃家畜保健衛生所

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください

つながらない場合は 0574-25-3484 へ

土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています

養豚農家、イノシシ飼育者の皆様へ

豚コレラ 発生予防対策について

豚コレラの発生を防ぐためには、各農場の飼養管理・衛生管理を徹底して、ウイルスの侵入を防ぐことが大切です。

1) 人・物・車両によるウイルス持ち込み防止

- ・衛生管理区域、畜舎への出入りの際の洗浄・消毒を徹底してください
- ・衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用を徹底してください
- ・畜舎等の消毒は、次亜塩素酸ナトリウム液、アルカリ液、逆性石けん液等を用いて行ってください
- ・車両消毒は、車体を腐食しにくい逆性石けん液、消石灰等を用いてください
(付着した泥等を除去し、動力噴霧器を用いて、タイヤ周りを中心に荷台、運転席清拭含め車両全体を消毒。運転手の手指、靴底消毒も徹底)
- * 消毒薬は、酸性とアルカリ性が混ざらないように注意し、十分効果のある濃度で使用

2) 消石灰の散布

- ・畜舎周囲、衛生管理区域境界に消石灰を散布しましょう
消石灰の散布量の目安: 1kg/m²

3) 野生動物対策

- ・いのしし、ねずみ等の野生動物の侵入防止対策を徹底してください
- ・豚舎周囲の清掃、整理・整頓(飼料タンク下の飼料は野生動物を誘因します)
- ・死亡した家畜は、野生動物に荒らされないよう適切に保管してください

4) 適切な飼料と水の給与

- ・野生動物等の排せつ物が混入していない飼料、水を与えてください
- ・飼料に肉を含み、または含む可能性があるときは、70℃、30分間以上または80℃、3分間以上の加熱処理を徹底

5) 健康観察・早期通報の徹底

- ・毎日、健康観察をしてください
- ・食欲不振、異常産の発生、発熱、起立困難、けいれん、死亡率の上昇など異常を発見したら家畜保健衛生所、担当獣医師に連絡してください